

通し番号	4 8 2 1
------	---------

分類番号	28-4B-12-04
------	-------------

花びらに刷毛目模様をもつ冬咲き性のスイートピー‘スプラッシュシリーズ’の新色‘スプラッシュヴィーノ’（系統名 St-Brown）を育成しました	
[要約] 冬咲き性品種で花弁の刷毛目模様を特徴とするスプラッシュシリーズの新しい花色として‘スプラッシュヴィーノ’を育成した。‘スプラッシュヴィーノ’は黄白地に暗紫赤の刷毛目状の模様が入る。‘スプラッシュブルー’、‘スプラッシュパープル’及び‘スプラッシュレッド’と同等以上の切り花品質・収量性をもち、スプラッシュシリーズとしてシリーズ販売が可能である。	
神奈川県農業技術センター・生産技術部	連絡先 0463-58-0333

[背景・ねらい]

神奈川県では古くからスイートピーの栽培が行われており主要切り花品目となっている。関東随一の産地であるが、産地規模が小さく市場での競争が厳しくなっている。そこで市場での優位性を支えるため県内栽培に適した冬咲き性で花色に新規性をもち、ボリュームのある高品質なスイートピー品種を育成する。

[成果の内容・特徴]

- 1 ‘スプラッシュヴィーノ’は2004年春に交雑を行った‘湘南オリオン’×‘03-37-10’（当所育成系統）の自殖後代から花弁に斑紋をもつ系統の選抜を続け、2012年に斑紋色が暗紫赤のものを選抜・固定したものである。
- 2 ‘スプラッシュヴィーノ’は旗弁・翼弁ともに黄白の地色に花弁両面に暗紫赤の刷毛目模様をもつ（図1及び2）。
- 3 平均切り花長は41cmで‘スプラッシュブルー’、‘スプラッシュパープル’よりやや短いものの、‘スプラッシュレッド’より長く、平均小花数は5個で他のスプラッシュ3品種と同程度である（表1）。
- 4 小花数4個以上の株あたりの切り花本数は20本で‘スプラッシュブルー’、‘スプラッシュパープル’と同程度であり、‘スプラッシュレッド’より多い（表2）。

[成果の活用面・留意点]

- 1 品種登録出願を予定している。
- 2 特徴的な花弁模様及び花色は容易に他品種と区別でき、他産地との差別化品種としての利用が期待できる。

[具体的データ]



図1 ‘スプラッシュヴィーノ’の切り花



左；向軸側、右；背軸側
上段；旗弁、下段；翼弁

図2 ‘スプラッシュヴィーノ’の花弁

表1 ‘スプラッシュヴィーノ’の花色特性と切り花品質

系統・品種名	旗弁色 ^z	翼弁色 ^z	切り花長 ^y	小花数 ^x
スプラッシュヴィーノ	黄白(暗紫赤)	黄白(暗紫赤)	41cm	5.0 個
比較品種				
スプラッシュブルー	黄白(濃青味紫)	黄白(鮮青味紫)	42cm	5.0 個
スプラッシュパープル	黄白(鮮紫)	黄白(鮮紫)	43cm	4.9 個
スプラッシュレッド	ピンク白(明紅)	ピンク白(明紫赤)	39cm	5.1 個

^z()内は花弁の斑紋の色、^y全切り花の平均、^x1花房当たりの小花数

表2 ‘スプラッシュヴィーノ’と比較品種の長さ別切り花本数(小花4個以上・株あたり)

品種名	切り花長						計	
	40cm以上		30~40cm		30cm未満		本	%
	本	%	本	%	本	%		
スプラッシュヴィーノ	12.9	63.9	7.3	35.9	0.0	0.2	20.2	100
比較品種								
スプラッシュブルー	15.3	71.7	6.0	28.0	0.1	0.4	21.3	100
スプラッシュパープル	16.3	83.0	3.3	16.6	0.1	0.4	19.6	100
スプラッシュレッド	5.6	34.2	9.3	57.3	1.4	8.5	16.3	100

- [資料名] 平27年度試験研究成績書 花き・観賞樹
 [研究課題名] 花き・観賞樹の新品種育成 スイートピーの新品種育成
 [研究期間] 平成23~27年度
 [研究者担当名] 栢原知子